

33.8kmを風のように走る

9月3日(日)、第14回青森県民駅伝競走大会が青森市で開催され、県内全40市町村が参加し、正午にアスパム(青森県観光物産館)前をスタートし健脚を競い合いました。

当町の代表として次の選手たちが活躍してくれました。第1区・三浦優孝さん(木造高校1年)、第2区・マロンアジイズ航太さん(鶴田中3年)、第3区・池田大助さん(サークルK鶴田)、第4区・工藤貴寛さん(鶴田町役場)、第5区・瀬戸ちづるさん(鶴田中3年)、第6区・斎藤和仁さん(陸上自衛隊青森)、第7区・木村友映さん(弘前大学助手)、第8区・松山勇生さん(鶴田中3年)。

当町は総合で33位の成績を収めました。選手、スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。



△ゼッケン20番鶴田町第1区走者の三浦優孝さん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場企画課広報国際係までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線264)

将来の夢を英語で語る

9月7日(木)、第32回北五中学校英語弁論大会が、町国際交流会館で行われました。

北五地区の11中学校33人がRecitation(暗唱)の部とSpeech(創作)の部に分かれて、日ごろ練習を重ねた流ちょうな英語で、家族のことや夢などについて発表しました。

鶴田中学校からも3人の生徒が参加し、Speech2年生の部で佐藤憲佳さんが、プラスバンド部の活動についてのSpeech「My band」を発表し、見事1位を受賞しました。佐藤さんは「家や学校で2週間くらい練習をしました。今日は練習以上に上手にできました」と満足な表情で感想を述べていました。



△ジェスチャーを交えながら感情を込めて発表する佐藤憲佳さん

長寿を祝いますます元気

9月14日（木）、敬老の日に先駆け、当町の長寿者を顕彰する敬老会が、鶴遊館で行われました。来賓を含めた約560人が出席し長寿のお祝いをしました。

今年は、最高年齢長寿者（男女各1人）、最高年齢長寿者夫婦1組、88歳長寿者61人、80歳長寿者148人の対象者を顕彰し、同時に100歳到達者1人と88歳到達者夫婦2組の青森県高齢者知事顕彰状伝達も行いました。

中野町長は「皆さんがごはんを食べているから長生きをしていることを、子どもや孫へ話して欲しい。これからも健康で長生きをしてください」お祝いの言葉を述べました。



△鶴田町男性最高年齢長寿者の太田又四郎さん（97歳）



△チラシを配りながらリンゴ園地を巡回するパトロール隊

警戒警報りんご泥棒にご用心

9月19日（火）、リンゴの収穫時期に合わせ、五所川原警察署、農協、防犯協会、町の協力の下、りんご盗難防止パトロール隊が出動しました。パトロール隊は、今年もすでにリンゴ泥棒の被害が発生した水元地区を中心に、チラシを配りながら農家の方々に注意を呼び掛けました。

福井久男五所川原警察署長は、「リンゴの盗難を抑止するために、一丸となって巡回し、絶対発生させないという強い心構えでやっていきたい」と意気込みを述べていました。これ以上当町で盗難が発生しないように、皆さんも不審者を見かけたらご一報ください。

冬場も足湯が楽しめます

9月21日（木）、境にある鶴東館（福祉施設）に2つ目の「足湯」がオープンしました。

昨年寄贈された「足湯」も大変好評をいただいておりますが、屋外のため冬期間の利用ができなく、町民から1年中浸かりたいとの要望が多くありました。そこで鶴田町大工組合（渋谷俊一組合長）に相談したところ、新たに「屋根付足湯」が寄贈されました。

この日、足湯に浸かりに来た高谷ひさゑさん（胡桃館）は「1年中入れるようになって良かった。気持ちいいのでまた来ます」と感想を述べていました。なお、利用時間は、午前10時から午後3時までとなっています。



△真新しい檜の香り漂う湯船に気持ち良さそうに足を浸ける近所の方々